

施策評価シート	評価対象年度		2024年度		計画		4年目		この施策を記入する課等		学校教育課										
	評価者	評価者	教育次長		担当者		担当者		学校教育課長		担当者		担当者		若林久人						
基本目標	3	子どもの個性と力がのびのびと育つ教育のまち																			
基本施策	5	次代を担う人材を育むまちづくり																			
施策	10	総合戦略	特色ある教育の推進																		
施策の目指す姿	地域の子は地域で育てる基本理念の下で、主体的・対話的で深い学びやICTの活用等を推進し、次代を担うたくましい人材を育む教育のまちを目指します。																				
SDGSとの関連																					
成果指標	指標名		単位	現状値(年度)	実績値	目標値(2025)	達成率	達成率の主な要因等													
	「特色ある魅力的な学校づくりの推進」の満足度		%	31.6 (2019)	31.9 (意識調査'23)	34	93.8	学校では様々な取り組みをしているが、その取り組みが市民へ伝わっていないことも一因													
	自分には良いところがあると答える児童生徒の割合(小学校)		%	88.1 (2019)	90.2	92	98.0	全国水準を上回るなど、毎年高水準で推移している													
	自分には良いところがあると答える児童生徒の割合(中学校)		%	75.5 (2019)	85.5	82	104.3	様々な体験の中で、認められる機会が増えているためと受け止めている													
プロセス指標	指標名		単位	現状値(年度)	実績値	目標値(2025)	進捗状況評価	進捗状況の主な要因等													
	朝食を毎日食べる児童生徒の割合(児童)		%	91.2 (2019)	96	100	C	食育指導により実績値は上昇している													
	朝食を毎日食べる児童生徒の割合(生徒)		%	87 (2019)	95.1	100	C	食育指導により実績値は上昇している													
	不登校児童・生徒の新規人数(児童)		人	12 (2019)	23	10	C	低学年から新規不登校児童が増えている													
	不登校児童・生徒の新規人数(生徒)		人	23 (2019)	33	18	C	中学1年生の新規不登校が増え、全体を押し上げている													
	教職員ストレスチェックにおける高ストレス判定者の率		%	9.8 (2019)	12.1	8.2	C	業務量の過多、対処困難な児童・生徒への対応、保護者対応などの高ストレス要因が減らない状況が推測される。													
施策に関連する主な事務事業の評価																					
事務事業名(◆実計)	I 必要性	II 有効性	III 効率性	評価コメント			今後の方向性	事業	コスト												
教育委員会運営費	必要不可欠	大変有効	変わらない	法令に基づき教育委員会の円滑な運営を行い、教育行政の進展を図る。			現状維持	現状維持													
教育奨励事業	高い	普通	向上	必要性・有効性・効率性だけでなく、限られた財源の中で緊急を要するかどうかも加味しながら事業を取捨選択し、持続可能な教育奨励事業を展開する。			現状維持	現状維持													
教育支援事業	必要不可欠	有効	変わらない	教育支援委員会の就学判断数が年々増加している。一人ひとりきめ細かく対応を行い適切な就学につなげる。			現状維持	現状維持													
不登校児童生徒支援事業	高い	大変有効	変わらない	学校、家庭、関係機関が連携した支援体制の充実。また、多様な学び場、居場所の環境整備を行う必要がある。			拡充	現状維持													
教育活動支援事業	高い	有効	変わらない	配慮や支援を必要とする児童生徒の学びや学校生活をサポートすることは、教員の働きやすい環境づくりにもつながっている。配慮や支援を必要とする児童生徒は毎年増加しており業務の拡大が見込まれる。			拡充	現状維持													
奨学金事業	高い	有効	変わらない	奨学金事業は、学習意欲があるにもかかわらず経済的な理由などで就学が困難な学生を支援して欲しいとの意向でいただいた寄附金を財源としている。			現状維持	現状維持													
教育相談事業	高い	有効	変わらない	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと学校が連携し、家庭への支援を含めて困り感のある児童生徒に寄り添って必要な支援を行っていく。			現状維持	現状維持													
就学援助事業	必要不可欠	有効	変わらない	適切な制度の運用により児童生徒の家庭を支援し、児童生徒の学びの機会均等を図る。			現状維持	現状維持													
小学校管理運営事業	必要不可欠	大変有効	やや悪化	適切に小学校の維持管理を行い、児童の教育環境を整える。光熱水費の値上げや施設の老朽化に伴い維持管理経費が増える見込みだが、可能な限り経費の削減に努める。			現状維持	現状維持													
◆小学校施設整備事業	必要不可欠	大変有効	変わらない	小学校施設設備の状況を把握する中で必要な整備を行う。また、施設設備が老朽化しているため長期的には大規模な施設改修・増築・新築を検討していく。			拡充	拡大													
小学校教育振興事業	必要不可欠	大変有効	変わらない	教育効果を高めるために各種教材備品を整備していく。			現状維持	現状維持													
小学校情報教育事業	必要不可欠	大変有効	変わらない	学習用一人一台端末の更新を実施し、ICT機器を活用した教育環境の整備を進める。			拡充	現状維持													
小学校国際化教育推進事業	高い	大変有効	変わらない	児童が直接海外の方と接することで、言語・文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が養われている。また外国語の音声や基本的な表現に親しむことで英語力の向上にもつながる取り組みとなっている。			現状維持	現状維持													
中学校管理運営事業	必要不可欠	大変有効	やや悪化	適切に中学校の維持管理を行い、生徒の教育環境を整える。光熱水費の値上げや施設の経年劣化に伴い維持管理経費が増える見込みだが、可能な限り経費の削減に努める。			現状維持	現状維持													
◆中学校施設整備事業	必要不可欠	大変有効	変わらない	中学校施設設備の状況を把握する中で必要な整備を行う。また、長期的には大規模な施設改修・増築を検討していく。			拡充	拡大													
中学校教育振興事業	必要不可欠	大変有効	変わらない	教育効果を高めるために各種教材備品を整備していく。			現状維持	現状維持													
中学校情報教育事業	必要不可欠	大変有効	変わらない	学習用一人一台端末の更新を実施し、ICT機器を活用した教育環境の整備を進める。			拡充	現状維持													
中学校国際化教育推進事業	高い	有効	変わらない	生徒が直接外国人と接することで、言語や文化の理解や、積極的なコミュニケーション態度の育成、4技能の基礎能力向上につながる。オンライン国際交流事業については希望生徒が少なく、効果が限定的なため廃止とする。			縮小	現状維持													
特別支援学校管理運営事業	必要不可欠	大変有効	変わらない	学校の適切な管理を行い、特別支援教育の充実を図っている。			現状維持	現状維持													
◆特別支援学校施設整備事業							現状維持	現状維持													
健康管理事業	必要不可欠	大変有効	変わらない	児童生徒、教職員の健康保持に努める。			現状維持	現状維持													
学校保健事業	必要不可欠	大変有効	変わらない	児童・生徒の衛生環境の保持と災害共済の給付を適切に実施していく。			現状維持	現状維持													
学校給食センター管理事業	必要不可欠	有効	やや向上	安全安心な給食を提供する。併せて児童生徒が主体的によりよい食習慣を形成しようとする態度を育てるための食育を推進する。			現状維持	現状維持													

